



はんな岳西麓から伊原間の集落をのぞむ

【ミニミニ歴史・伊原間】

1734年、広い耕地を求めて石垣、登野城両村の百姓が安良あたりで耕作、彼らが寄百姓として立村。畑地も広く薪木も豊富で住みやすく、村番所も置かれ栄えたが、明和の大津波により当時の人口720人のうち625人が溺死。

その後、黒島から167人の寄百姓により再建したが、しだいに衰退、終戦直後は20戸まで減少したが、昭和26年沖縄本島の勝連移民団が入植し今日に至る。

現在の人口は49世帯122人。

(角川地名辞典より)

1992年 8月号
No.253号

平成4年7月30日発行

人口と世帯数

総人口	42,195
男	21,178
女	21,017
世帯数	14,389

(平成4年6月末現在)

周年を盛大に祝う!!

(故)宮良長包氏・(故)喜舎場永珣氏を推挙

統一テーマ

ふりかえり 今 確かな未来へ



昭和二十二年七月十日、県下四番目の市として誕生した石垣市は、今年で、四十五周年を迎えました。この大きな節目を全市民挙げて祝いました。

七月九日には、前夜祭とし

て新栄公園広場で「市民フェスティバル」が開催されました。フェスティバルは、新川小学校、石垣小学校、登野城小学校、海星小学校の児童による鼓笛隊パレードで幕を開け、八重山高等学校ブラスバ

ンド部の演奏、アマチュアバンドの軽快なステージ、平真小学校レインボーのマーチングバンド、八重山商工高校ポランティア部・石垣市フォークダンスクラブのフォークダンス、八重山高校・八重山農林高校郷土芸能クラブの舞踊、石垣市婦人連合会の団体舞踊「フラワーロード」、登野城字会による棒術・獅子舞、石垣市青年団協議会によるエイサー等が次々と演じられ、多くの市民が市制四十五周年を祝いました。

また、石垣市市制施行日にあたる七月十日午後三時から石垣市民会館大ホールで、大田昌秀沖縄県知事、仲村正治衆議院議員、親善都市の岡村秀夫岡崎市議会議長、友好都市の敦賀一夫稚内市長をはじめ、多くの来賓と市民多数が出席し四十五周年を祝う記念式典が盛大に挙行されました。

開会に先立ち、八重山民俗舞踊保存会の九名の師匠による祝福の舞「赤馬節」が荘重に舞われ、いしがき少年少女合唱団による市歌斉唱について宮良當祐助役の開式の言葉の後、物故された名誉市民、自治功労者、市政功労者、一般市民の御霊に黙禱が捧げられました。半嶺市長が「市制施行四十五周年にあたる今年には、本土復帰二十周年にもあたり、いよいよ第三次沖縄振興開発計画の初年度であり、二十七年間の本土との遅れを取り戻し、経済自立の態勢を築く総仕上げの時であります。この時にあたり、歴史の重大な転換期にあることを認識し、先人たちの築かれた繁栄を基盤に、新しい繁栄の未来を創造するため、全市民が和衷協同をもって英智を結集すべきときであります」と式辞を述べました。桃原市議会議長の挨拶に続き、名誉市民に(故)宮良長包氏と(故)喜舎場永珣氏が推挙されました。また、本市の進展に貢献された自治功労者、産業・教育・文化等の市政功労者九十二名、二団体、永年勤続職員十三名に半

市制施行45

名誉市民に

嶺市長から表彰状及び感謝状と記念品が贈られました。引き続き、来賓の大田県知事、仲村衆議院議員、岡村岡崎市議会議長、敦賀稚内市長が祝辞を述べ、市制四十五周年を祝いました。受賞者を代表して石垣信亨氏が「この度、身に余る榮譽を頂戴し、一生忘



れることのない誇りであり感慨無量です。これからも尚一層、心を締め石垣市発展のために役立ちたい」とお礼の言葉を述べました。また、これからの石垣市の発展を希求して今年二十歳になった普久原朝敬君と仲宗根淳子さんが「誓いの言葉」を力強く述べました。引き続き、前津栄一教育長の音頭で万歳三唱が行われ式典の幕を閉じました。式典終了後、午後七時からホテル日航八重山で記念祝賀会が行われ、四十五周年の節目を祝いました。

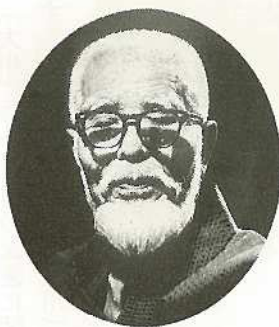
名誉市民



(故)宮良長包氏は、明治十六年(一八八三)に宇新川に生まれ、明治四十年(一九〇七)沖縄県師範学校を卒業後、登野城尋常小学校に八年間在職。この間、伊波普猷氏の影響を受けて「八重山子供会」を発足し、音楽を通して子どもたちの情操教育に尽力。大正十年(一九二一)沖縄県師範学校音楽担当となり郷土民謡やわらべ歌の研究に着手、優れた教育者としての資質と教育観をもつ。「鳩間節」を皮切りに「赤ゆらの花」「嘆きの海」「泊り船」などの歌曲を作曲。また沖縄で初めて男女生徒による混成合唱団を結成し、音楽の大衆化につとめた。郷土文化に自信と誇りをもって独自の音楽を作りあ

げ「えんどうの花」「ふる里」など多くの名曲を世に送り出した。昭和四年(一九二九)以後、「汗水節」をはじめ「だんじゅ嘉利吉」など琉球音階を駆使した民謡調歌曲を作曲、沖縄音楽の新境地を開拓、多くの人に親しまれている。昭和十四年(一九三九)六月、五十六歳で死去。作品集に「南国の花」、レコード「首里古城」などがある。

児童公園に、ふるさとをこよなく愛した偉大な音楽家・宮良長包生誕百周年を記念して顕彰碑が建立され、長包メロディーの心が今なお伝えられている。



(故)喜舎場永珣氏は、明治十八年(一八八五)宇登野城に生まれ、明治三十九年(一九〇六)大川尋常小学校

在職中に文部省の民謡・俗謡調査委託を受け、それを契機に郷土史に関心をもち、昭和七年(一九三二)四十八歳で教壇を退いてからは郷土史研究に専念。沖縄で初の文学士として知られる伊波普猷氏や、日本民俗学の創始者柳田国男氏の指導・影響を受ける。戦前、大正十三年(一九二四)

「八重山民謡誌」を著し、昭和十年(一九三五)には「石垣町誌」編纂に参画、八重山郷土史研究会会長をつとめる。戦後は、八重山群島政府企画の「八重山歴史」の主筆をとめ、「八重山古謡」「八重山民俗誌」(上下巻)などの著作を出し、八重山郷土史研究の基盤をつくった。その蔵書資料は蔵元の古記録など貴重なものが多い。昭和四十六年(一九七一)柳田国男受賞。昭和四十七年(一九七二)四月、八十八歳で死去。「八重山研究の父」と言われた氏は、島の歴史とともに歩みかつ島をこよなく愛したひとりでもある。現在、富崎野に顕彰碑が建立されている。

石垣市の進展に多大な貢献をされた次の方々が、自治功労者、産業・教育・文化等の市政功労者として表彰されました。

自治功労者

知念辰太郎(新川)・大浜孫常(石垣)・亀谷善一(新川)・小底嗣洋(美崎町)・高嶺善伸(川平)・宮城信勇(那覇市)・石垣信亨(登野城)・定歳實勇(登野城)

市政功労者

◆産業部門
 ▼土木建設業振興に関する功績 宮良直行(登野城)・田場由宗(登野城) ▼林業振興に関する功績 白玉萬吉(大川) ▼農業基盤整備事業に関する功績 富永實(登野城)・宮良信雄(大川)・小瀨用要(登野城)・通事安昭(大川)・宮良英美(大浜)・大濱永仁(宮良)・大浜善正(大浜)・徳村亨(登野城)・半嶺當喜(宮良) ▼農業振興に関する功績 横目正一郎(伊原間)・新城榮治(大浜)・洲鎌進(名蔵) ▼パイナップル産

業振興に関する功績 渡邊喜弘(宮良) ▼畜産業振興に関する功績 田盛一郎(大浜)・武内孝吉(真栄里)・野底永正(川平) ▼糖業振興に関する功績 普天間明(名蔵) ▼漁業振興に関する功績 上間豊治(登野城)・宮里亀一(新栄町)・具志堅忠五(登野城) ▼建設業振興に関する功績 崎山寛宗(大川)・大山昭雄(美崎町) ▼都市基盤整備に関する功績 山里宏保(石垣) ▼酒造業振興に関する功績 池原正(大川)

◆教育部門

▼教育振興に関する功績 浦本眞正(登野城)・仲本英清(川平)・石垣榮一(大浜)・(故)次呂久信次(大川)・宮良正惟(新川) ▼教育振興並びに社会教育に関する功績 川平永賢(登野城)・崎山用喜(石垣) ▼教育振興並びに婦人会活動に関する功績 宮良ハル(石垣)・瀬名波初(登野城) ▼教育振興並びに老人会活動に関する功績 仲盛清一(登野城) ▼教育振興並びに老人福祉に関する功績 伊良皆高成(新川) ▼教育振興並びに公民館活動に関する功績 大堂安清(大川) ▼教育振興並びに植物保護に関する功績 大瀨長義(登野城) ▼教育振興並びに青少年健全育成に関する功績 古堅嘉助(石垣)・田眞米三(登野城) ▼PTA・青少年健全育成活動

る功績 大堂安清(大川) ▼教育振興並びに植物保護に関する功績 大瀨長義(登野城) ▼教育振興並びに青少年健全育成に関する功績 古堅嘉助(石垣)・田眞米三(登野城) ▼PTA・青少年健全育成活動

動に関する功績 糸数長弘(新川) ▼青少年活動に関する功績 前瀨泰一(大川)・宮良百枝(大川) ▼青少年育成に関する功績 中村睦子(大川) ▼文化財の保護に関する功績 森田孫榮(大川)

◆文化部門

▼伝統芸能(舞踊)の継承と普及に関する功績 石垣寛吏(石垣)・辻野三郎(登野城)・新井三千(大川)・細原清(那覇市)・森田吉子(那覇市)・山森喜代子(大川)・本盛秀(大川)・宇根由基子(美崎町) ▼八重山古典民謡の継承と普及に関する功績 大瀨源吉(石垣)・石垣信榮(大川)・石垣信知(登野城)・仲宗根長一(那覇市)・宮良長定(新川)・山里勇吉(那覇市)・通事安京(那覇市) ▼伝統芸能(古謡)の継承と普及に関する功績 本名光(大川) ▼伝統芸能(古謡・棒術)の継承と普及に関する功績 長田紀友(大川) ▼伝統芸能(狂言)の継承と普及に関する功績 富永實彦(登野城) ▼伝統芸能(箏曲)の継承と普及に関する功績 古見澄(登野城) ▼八重山古典民謡(太鼓)の継承と普及に関する功績 西表孫明(石垣) ▼八重山古典民謡(箏曲)の継承と普及に関する功績 宮良まさみ(新川) ▼創作民謡研究・普及に関する功績 前新科子(登野城)



石垣市制45周年記念式典

- ◆スポーツ部門
 - ▽スポーツ振興に関する功績
 - 大山正夫（登野城）・石垣吉雄（登野城）
- ◆社会部門
 - ▽社会福祉活動に関する功績
 - 登野城安敬（登野城）・下田正夫（宮良）・石垣正二（登野城）・西表秀（登野城）
 - ▽社会活動に関する功績
 - 仲文（白保）▽地域生活改善に関する功績
 - 渡久山トシ（大川）・大底悦（新栄町）
 - ▽地域社会活動に関する功績
 - 竹田定七（石垣）▽交通安全推進に関する功績
 - 今村善三（大川）・宮良安吉（大川）
 - 田場由盛（登野城）▽消防防災に関する功績
 - 豊平秀榮（石垣）▽保健衛生に関する功績
 - （故）富川盛博（登野城）



△受賞者代表あいさつ、石垣信亨氏

◆感謝状
八重山地区医師会・華道家元池坊沖繩支部八重山支所

◆永年勤続職員

- 東宏信（民生課長）・通事宏（環境衛生課長）・玻名城泰雄（博物館長）・與儀玄一（図書館長）・崎山信之（社会教育課長）・喜舎場孫進（大浜出張所主幹）・宮良征三郎（税務課係長）・玉城タケ（登野城保育所）・喜友名登喜子（みやまえ幼稚園）・渡辺康子（へいしん幼稚園）・慶田城悠美子（まさら幼稚園）・米盛邦子（平久保小学校）・神山則子（白保小学校）



△市制昇格時の祝辞

写真で見る
市政5ヶ年の
あゆみ



△伊原間保育所開所 H元・9



△第42回国民体育大会高校野球(軟式) S62.10



△第1回市民と語る集い H2.8



△世界平和の鐘落成 S63.12



△暴行致死再発防止大会 H3.2



△紀宮清子内親王来日 H3.9



△市立図書館オープン H2.10



△八重商工高生のフォークダンス

フォトアルバム

市民フェスティバル

～前夜祭～

新栄公園



△八重高ブラスバンド部の演奏



△児童による鼓笛隊パレード



△石婦連のフラワーロード



△アマチュアバンドのステージ



△半嶺市長



△八重高生の舞踊



△平真小マーチングバンド



△登野城字会の棒術



△青年会のエイサー



△八重農生の舞踊

学校週五日制導入・九月十二日実施

個性や創造性を伸ばす教育がねらい

教育委員会

いよいよ「学校週五日制」がスタートします。明治以来つづいた「週六日制」にピリオドを打つことになりました。

急激な社会の変化にともない、これからの時代に対応していく、資質や能力を培い望ましい人間形成を図る努力が求められています。

「学校週五日制」は、学校・家庭及び地域の理解と協力を得て、円滑に社会全体で実施するものであります。

週五日制の

意義

社会の変化に対応して、これからの時代に生きる幼児・児童生徒の望ましい人間形成を図ることにあります。すなわち今日のような社会の変化が著しい時代においては、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応し、主体的に考え判断し、行動するために必要な資質や能力の育成を図らなければなりません。これらの能力は、学校だけでなく、自主性を発揮しやすい家庭や地域での社会

機能を十分発揮できるように努める。

一、基本的な生活習慣の確立を図る絶好の機会ととらえ、親子の対話ができるよう努める
一、親子が共有できる絶好の機会としてとらえ、家族で計画を立てさまざまな体験等が実施できるよう努める。

一、公民館や自治会においては、子ども会・スポーツ少年団の文化及びスポーツ活動並びに奉仕活動を支援するよう努める。

一、地域行事等に積極的に参加させ、地域の伝統文化の継承に努め「ふるさと」の良さを発見させ、地域の教育力が発揮できるよう努める

一、公民館・自治会においては、地域ぐるみで積極的に青少年の健全育成を推進するよう努める。

○教育行政の対応

一、子ども会・スポーツ少年団・いしがき少年少女合唱団・

子ども博物館等の育成を図り、文化・スポーツ活動の体験活動・奉仕活動等を推進するよう努める。

一、自然体験学習（アドベンチャー）の充実が図られるよう努める。

一、指導員・ボランティア等の人材育成と確保へむけて努める。

一、社会教育諸団体や関係機関等に対し、理解と協力が得られるよう努める。

一、広く住民に対し、広報活動を展開し、広く理解と協力が得られるよう努める。

一、社会教育・スポーツ施設等の開放と有効活用ができるよう努める。

○学校（幼稚園）の対応

一、新学習指導要領や学校週五日制導入の趣旨を十分にふまえて、「自己実現」に役立つ

よう教育課程の編成の一部を見直すよう努める。

一、自ら学ぶ意欲を培い、基礎的・基本的事項の定着が図られるよう努める。

一、休日となる土曜日の授業時数を他の曜日に上乘せすることにより、授業時数の確保に努める。

一、幼稚園は、教育内容を精選工夫し、対処するよう努める。

一、学校週五日制の導入について、構内研修等で情報交換を深め、幼児・児童生徒の「自由時間」の過ごし方について、考えさせるように努める。

一、各家庭への啓発を積極的に行えるよう工夫し、理解と協力が得られるよう努める。

一、生徒指導の充実を図るために、一層の校内（園内）体制の確立に努める。

週五日制に

むけて

○家庭・地域社会の対応

一、休日となる土曜日の受入れの基本は、家庭であること認識し、望ましい親子関係を築くよう努める。

一、人間形成の基礎は、家庭であり保護者は、我が子に責任をもち、家庭における教育



川平

浄化センターの建設はじまる

下水道は、わたしたちの生活環境を改善し、川や海などの水の汚濁を防ぐためになくしてはならない施設です。

このほど石垣市では初めての浄化センターが川平地区で建設されることになり、六月二十五日に起工式が行われました。

施設の概要は、処理面積が三〇㉔で、処理人口が一〇七〇人、一日平均二九〇㉔の処理能力を有し、総額一億四千九百万で日本下水道事業団が発注したものです。工期は平成四年十月三十日を予定しており、今年の秋には立派な浄化施設がお目見えします。



シルバー人材センターにむけて

あなたの技能を生かしてみませんか

市では、現在シルバー人材センターの会員を募集しています。シルバー人材センター

は、高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進、福祉の増進を目的にしています。石垣市に住所を有し、おおむね六十歳以上の健康な方なら、どなたでも会員になれます。

○手続きは

商工課窓口に入会申込書を提出してください。

○会費は

総会で決められた額を年会費（二千円程度）として納めてください。会費は会員の福利厚生やセンターの運営費にあてられます。

○仕事は

会員は、あらかじめ自分の

希望する仕事を登録しておき、その中から自分で選んで働きます。主に臨時的、短期的な仕事です。

○働いた報酬は

自分が従事した仕事に応じて、センターから月毎に配分金が受けられます。

詳しくは、経済部商工課へ

☎（内線四〇一番）

リサイクル

青空自由市を開催!!

「あふれんばかりの物に囲まれた私達の生活、まだまだ使える物を簡単にゴミにしませんか」の問いかけに、七月五日浜崎町の緑地公園で「リサイクル青空自由市」が開催されました。自由市は、市内で活動しているリサイクル友の会と市環境衛生課、それに市民憲章推進協議会の共催で開かれたもので、日曜日とあって市民多数が参加し、リサイクルへの関心の高さを示していました。

段家庭の押入れで埃を被っている食器類や不要となった衣類がほとんどで、売り方は各自工夫をこらして自由で、価格も低廉価のため、参加した市民は品物を手に取ったり、試着したりして好きなものを購入していました。

また、この日は、空き缶プレス機が初めて紹介され、空き缶を持ち寄った子ども達もプレスされる缶を不思議そうな顔をしたり歓声をあげたりし、夏の一日をリサイクルで過ごしました。



緑の少年団結団式

石垣市で初

石垣市初の緑の少年団の結団式が、七月十八日、大浜小学校体育館で行われました。この緑の少年団は大浜小学校の児童二十一名で結成。結団式には父母や来賓など多数が出席、鼓笛隊の演奏で団員が入場し、にぎやかに行われました。石垣市緑化支部長の半

嶺市長（代読）が「石垣市で初の緑の少年団であり、これから続く団のためにも、模範となるよう立派な活動をしてください」とあいさつをされました。少年団を代表して大工盛賢君と津波夏海さんが「緑の中でさまざまな野外活動を通して、緑の大切さを知り、

小さな木や草の命を大切にし、仲間と手をつないでふるさとの緑を守り育てていきます」と力強く誓いました。

緑の少年団は、昭和四十四年秋田県で生まれ現在全国で二千団余、沖縄県では三十番目の結成。結団式終了後は、団員全員で大浜小学校に植樹をしました。



「五十五歳でも、バレーボールとなると自然と身体も動くし、楽しいですよ。これでもまだまだ現役ですよ」と、真玉橋さんは、笑いながら話してくれました。真玉橋さんが所属しているクラブが、OKバレーボールクラブです。昭和六十年に結成し、その年いきなり家庭婦人バレーボール大会で優勝、全国家庭婦人バレーボール県予選大会ではベスト8。現在、会員は十五名、毎週木・土曜日午後八時から登野城小学校体育館で活動している。「今、市内には十七の家庭婦人バレーボールクラブがあるが、他のクラブと比較して年齢の幅が極端で、二十七～五十五歳、そのぶん家族的であたたかくチームワー

③ OKスポーツクラブ

ク抜群です」と浦崎会長は話しました。活動していく上で問題は、施設面は十分だが、会員がお母さん達なので、夕食の後にしか活動できないため集合時間が守られないこと。週二日ですのではお父さん方、協力しては如何でしょうか。日頃の練習や

大会の他にも家族ぐるみの野外活動や奉仕活動も現在計画中のこと。「生涯スポーツの観点から、バレーボールを通して自らの健康づくりはもちろんのこと、人を知り、友をつくり、仲間をつくり家庭相互の交流ができ、ひいては地域に貢

献できる人にと「ママのバレーボールで明るい地域の和をつくっていききたい」を目標に日々頑張っているクラブです。入会については、どなたでも自由にいつでも可能とのこと。会についての詳細は☎二一七七五四 浦崎まで



児童手当制度について

1. 児童手当の目的

児童手当は、児童を養育する人に手当を支給することにより、家庭における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を目的とします。

2. 児童手当のしくみ

○支給の対象

児童手当は、三歳未満の児童を養育している人に支給されます。ただし、前年（一月から五月までの月分の手当については前々年）の所得が一定額以上の場合には、所得制限により児童手当は支給されません。

なお、平成四年一月からの制度改正により、支給の対象となる児童の年齢については、表一のような経過措置があります。

○児童手当の額

- 第一子 五千円
- 第二子 五千円
- 第三子 一万円

○児童手当の支給

児童手当の支給は、認定請

求をした日の属する月の翌月から開始（一部特例があります。）され、支給事由の消滅した日の属する月分で終わります。

なお、手当は、毎年二月・六月・十月にそれぞれの前月分までが支給されます。

○特例給付

所得制限により児童手当を受けられないサラリーマン（厚生年金等に加入している人）については、その人の前年（一月から五月までの月分の手当については前々年）の所得が一定額未満の場合に限って、特例給付（児童手当と同額）が支給されます。

児童手当をはじめて申請する人へ

※申請に必要なもの

- ① 出生、転入等により新たに受給資格が生じた場合、児童手当を受給するには、市役所民生課窓口にて「児童手当認定請求書」の提出が必要です。
- ② 預金通帳（父親名義）
- ③ その他窓口にて係員から必要に応じて請求いたします。

児童手当についての詳しいお問い合わせは、市役所民生課児童保育係まで。
電話（内線二七五番）

児童の年齢についての経過措置

第一子	第二子以降
平成3年1月2日以後に生まれた児童	昭和60年4月2日～ 昭和61年12月31日 昭和62年12月31日 昭和63年12月31日 昭和64年12月31日
3歳の誕生日の属する月分まで支給	平成3年12月分まで支給
平成元年1月1日～ 平成元年12月31日 平成2年1月1日～ 平成2年12月31日 平成3年1月1日～ 平成3年12月31日	昭和62年12月31日 昭和63年12月31日 昭和64年12月31日 昭和65年12月31日
4歳の誕生日の属する月分まで支給	平成4年12月分まで支給
平成2年1月1日～ 平成2年12月31日 平成3年1月1日～ 平成3年12月31日	昭和61年12月31日 昭和62年12月31日 昭和63年12月31日 昭和64年12月31日
5歳の誕生日の属する月分まで支給	平成5年12月分まで支給
平成元年1月1日以後に生まれた児童	昭和60年12月31日 昭和61年12月31日 昭和62年12月31日 昭和63年12月31日 昭和64年12月31日
3歳の誕生日の属する月分まで支給	平成3年12月分まで支給

平成4年度 所得制限限度額表

扶養人数	児童手当		特例給付	
	所得額	収入額	所得額	収入額
0人	147,6万円	234,4万円	363,0万円	515,6万円
1人	177,6	277,3	393,0	553,1
2人	207,6	320,1	423,0	590,6
3人	237,6	358,9	453,0	625,0

○所得制限限度額
平成四年度における所得限度額は、次のとおりですが所得には一定の控除があり、また、所得制限限度額は年によって変更されたりしますので、詳細についてお知りになりたい方は、市役所民生課へお問い合わせ下さい。

※扶養人数が4人以上の場合には1人につき30万円を加算していきます。



児童扶養・特別扶養 児童手当について

児童扶養手当・特別児童扶養手当受給者の皆様へお知らせいたします。

平成四年八月十一日から、

計量器の検査 を受けましょう

市では、計量法の規定により商店や学校などで、取引や証明に使用する計量器（はかり）の定期検査を実施します。計量器（はかり）をお持ちの方は、手数料を持参のうえ所定の日に検査を受けて下さい。検査を受けない計量器（はかり）を取引や証明に使用すると五万円以下の罰金に処せられることがあります。

検査区域	検査日時	検査場所
石垣市公設市場	8月17日 13:30~15:30	公設市場事務所
石垣市千春市場	8月18日 14:30~15:30	千春市場事務所
石垣市登野城市場	8月19日 13:30~15:30	登野城市場事務所
平得・真栄里	8月20日 9:30~11:30	平得公民館
大浜	8月20日 13:30~15:30	大浜公民館
宮良	8月21日 9:30~11:30	宮良公民館
白保	8月21日 13:30~15:30	白保公民館
大里・星野・伊野田・伊原間・久字良・平久保・平野	8月24日 9:30~15:30	各地区公民館
開南・川原・名蔵・於茂登・崎枝・川平	8月25日 9:30~15:30	各地区公民館
吉原・米原・富野・伊土名・野底	8月26日 9:30~15:30	各地区公民館
新川・浜崎町・新栄町・石垣	8月27日 9:30~15:30	八重山支庁
美崎・大川・登野城	8月28日 9:30~15:30	八重山支庁
検査区域	検査日時	検査場所
市内全域	平成4年8月17日から平成4年12月20日まで	計量器の取り付けがある土地又は建物その他の工作物の所在の場所

都計課より

郵便局・金融機関に支払いと振込みが行われます。それぞれの指定場所を受け取り下さい。

なお、次の日程で現況届も行いますので、早めに届出下さい。

◆現況届受付

期間 平成四年八月十一日

〃 八月二十八日

時間 午前九時~午後四時

場所 民生課窓口

☎ (内線二七四番)

石垣市中央運動公園の事業が、平成四年六月十二日に県知事より認可されました。

なお、縦覧は建設部都市計画課にて行っています。

◆事業の名称

六・五・一石垣市中央運動公園

◆事業地

石垣市字平得西原及び比原地

内 詳細は、都市計画課へ

ゴミ&リサイクル

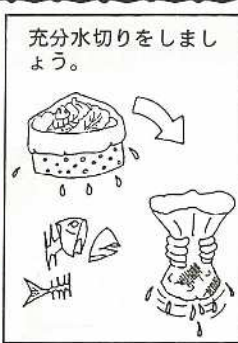
生ゴミ処理容器 の使い方

生ゴミ処理容器（コラポン）

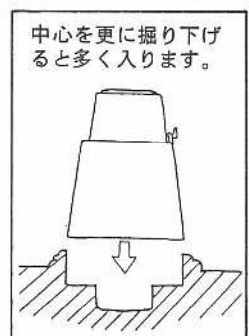
は家庭から出る生ゴミを対象とした容器です。次の使用方法を正しく守り、ゴミの減量化と美しいまちづくりにご協力下さい。



「生ゴミ処理容器は、屋敷内で水はけが良く、日当たりの良い場所を選んで下さい。」



「設置する場所を深さ10cm程掘り起こし設置します。正しく設置した後容器の周辺を盛土します。」



「生ゴミは充分に水切りをしてから入れて下さい。」



「生ゴミを投入して容器の20cm程の厚さになったら枯れ葉、枯れ草等を振り掛けてその上に少量の土を被せます。」

市では、下記の日程で第二回生ゴミ処理容器の配付を行います。申込をされた方は左記の日程の使用説明会を受けてから、容器を受け取って下さい。

※説明会 八月一・二日午前十時~ 岡崎会館

※持参するもの 容器代金 四千元・印鑑 詳しくは、

環境衛生課 ☎ (内線三二二) 石垣市婦連 ☎ 二一七八四五

市民の

ひろば

身元確認強調月間

八月一日～三十一日

身元不明死体の身元確認の強化及び、特に凶悪犯の被害者となっているおそれのある特異家出人の発見、保護の徹底を期すことを目的に全国一斉に身元確認強調月間が行われます。昭和五十二年一月～平成四年五月三十一日迄の八重山署管内の身元不明死体数は、男六体、女一体となっています。八重山署では、「行方不明者をさがす相談所」を開設し市民の相談に対応します。

写真で見る沖縄戦後史展

八月一日～八月八日市民会館展示ホール、中ホールで行われます。薄れていく戦争の

記憶を写真で確かめてください。戦争の体験のない方々、将来このような歴史を繰り返さないためにも、是非一度足をお運びください。

旧盆火災運動

八月十一日～十三日

旧盆中の子供の花火、蠟燭、線香の後始末等、一歩間違えば火事につながります。火の管理に充分に気を配って下さい。

海の自然教室

八月十五日～十七日

「自然とふれあい、自然に学ぶ」素晴らしさを知ってもらうために竹富島で海の自然教室を行います。スノーケルの正しい使い方を指導し、美しい珊瑚礁の海中探勝をおこなったり、夜の集いでは郷土の踊りを地元の方々に披露していただきます。是非ご参加ください。詳しくは西表国立公園管理事務所 ☎二一四七六八まで

八重山博物館夏期講座

。紅型教室 八月五日～六日

沖繩の代表的な染物である紅型の技法を学ぶ。

対象：中学生

。織物教室 八月十七日～十八日

簡易機織り機で布を織り、郷土の伝統織物についての理解を深める。

対象：小学六年生

。民具作り 八月二十四日

民具作りを通し、祖先の暮らしを学ぶ。

対象：小学五・六年生

申込み方法：各講座ごと博物館へ申し込んで下さい。

実際に経験して郷土のことを知る良い機会です。早めにお申込みください。詳しくは、八重山博物館 ☎二一四七二二まで

お問い合わせは、八重山署 ☎二一〇一〇まで

お問い合わせは、八重山署 ☎二一〇一〇まで

法律相談

毎週 水・金曜日（市民相談室）
午前九時三十分～十二時

今月の市民会館

大ホール

2日	ぬいぐるみミュージカル	03-3893-4616
9日	夏まつり演劇まつり	劇団群星 098-878-3664
26日	中国と八重山の芸術交流	2-5841
28日	第四回夏の八重山音楽会	03-3716-2098
30日	島和也20周年リサイタル	098-878-3080

中ホール

1～9日	写真で見る沖縄戦後史展	教育委員会 3-0373
------	-------------	--------------

展示ホール

1～9日	写真で見る沖縄戦後史展	教育委員会 3-0373
10日	税務相談	税務課 2-9911
14～17日	研墨展	2-6391
26～27日	絵画展	2-5841
28～30日	絵画写真展	3-0739

シートベルト、ヘルメット着用の徹底

◎運転者・同乗者も必ずシートベルトをしめましょう。

●シートベルトをしめてない人の死亡がふえています。

首にかからないように。



◎正しくかぶりましょうヘルメット

あみだにかぶらないようにしましょう。



あごひもをしっかりとめましょう。